巡回終了後に社会福祉実習教育研究センターへ送付

**精神保健福祉援助実習　巡回指導報告書**提出日　　年　　月　　日

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学籍番号 |  | 実習生氏名 |  | 巡回指導教員名 |  |

クラス

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実習施設名称 |  | 所在地 |  |
| 実習指導者 |  | 指導場所 | □実習先　□その他（理由　　　　　　　　　　） |
| 巡回指導日時 | 　　月　　日　　　　回目時　　分～　時　　分 | 巡回指導形態 | □　実習生・巡回指導教員□　実習指導者・巡回指導教員□　実習生・実習指導者・巡回指導教員 |

**１．自己評価欄に学生の自己評価を転記してください。指導の有無欄には、指導を行った項目に○、その中でも重点的な指導を行った項目には◎を付記してください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指導項目 | 自己評価（学生記入分） | 指導の有無 |
| 実習生としての責務 | 1．実習中の体調管理は十分できていた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 2．実習生として基本的な態度をまもることができた。（時間厳守、連絡、報告等） | 4・3・2・1･E |  |
| 3．実習記録には、気づいたこと、学んだこと、疑問に感じたことを自分の言葉でまとめられた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 4．実習課題を日々意識して取り組めた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 職場理解 | 5．職員とのコミュニケーションがうまくとることができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 6．職員の役割、業務内容について理解できた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 7．職場における精神保健福祉士の役割、他職種との専門性の違いを理解できた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 利用者理解 | 8．利用者の様子や表情を見ながら、コミュニケーションをとることができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 9．利用者の生活やニーズについてさまざまな側面から理解することができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 10．利用者から学ばせていただく姿勢がとれていた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 11．疾病を有する利用者と生活者である利用者を分けて理解できた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 12．利用者の生活のしづらさと共に、ストレングスにも注目できた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 自己覚知 | 13．利用者とのかかわりから自分の価値観を振り返ることができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 14．スーパーバイザーからのフィードバックを受けて、自分の視点や考え方の課題に気づくことができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 精神保健福祉援助技術（ソーシャルワーク）の理解 | 15．専門職の倫理（人権尊重、守秘義務等）を尊重することができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 16．多職種間のチームアプローチや関係諸機関との連携について理解することができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 17．ソーシャルワークがどのようなプロセスで行われているか、実際的に理解することができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 18．学校で学んだ援助技術がどのように活用されているか、実際的に理解することができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 社会資源としての施設のあり方・施策制度との関係理解 | 19．実習施設の運営理念と、その実現にむけてどのように施設が運営されているか理解することができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 20．実習施設が、社会資源として地域社会でどのような機能や役割を果たしているのか、そのために地域の他機関とどのように連携しているか理解することができた。 | 4・3・2・1･E |  |
| 21．精神保健福祉に関する法制度が、実習施設の運営やサービスのあり方についてどのように反映されているか理解することができた。  | 4・3・2・1･E |  |
| 22．精神保健福祉に関する制度が、利用者の生活にどのような影響を与えているのか理解することができた。 | 4・3・2・1･E |  |

**※裏面もご記入ください**

**２．実習生の状況および具体的な指導内容を記録してください。**

|  |
| --- |
|  |